

## 和歌山御坊バイオマス発電所の商業運転開始について

～ Daigas グループが出資参画するバイオマス専焼発電所の合計発電容量が国内有数の約 45 万 kW に到達 ～

2025 年 8 月 21 日  
大阪ガス株式会社

大阪ガス株式会社（代表取締役社長：藤原 正隆、以下「大阪ガス」）が、株式会社エネウイール（代表取締役社長：坂根 多加弘、以下「エネウイール」）、SMFL みらいパートナーズ株式会社（代表取締役社長：上田 明、以下「SMFL みらいパートナーズ」）と共同で出資する合同会社<sup>\*1</sup>が、本日、和歌山御坊バイオマス発電所（以下「本発電所」）の商業運転を開始しました<sup>\*2</sup>。

本発電所の商業運転開始により、Daigas グループによる出資参画意思決定済の 8 か所のバイオマス専焼発電所が全て稼働済みとなり、合計の発電容量は国内有数の約 45 万 kW になります。また、本発電所の運営にあたっては大阪ガス 100%子会社の Daigas ガスアンドパワーソリューション株式会社が技術支援を行います。

バイオマス発電は、再生可能エネルギー（以下「再エネ」）電源の中でも、天候や時間帯に関わらず発電が可能な安定電源という特徴があります。Daigas グループはこれまでのバイオマス専焼発電所運営で得たノウハウを活かし、今後も各発電所の安定操業に取り組んでいきます。

### 【本発電所の概要】

発電所名	和歌山御坊バイオマス発電所
発電所所在地	和歌山県御坊市日高港工業用地内の県有地および市有地
発電容量	5.0 万 kW
使用燃料	木質ペレット、PKS
敷地面積	約 70,000m <sup>2</sup>



和歌山御坊バイオマス発電所

Daigas グループは、2050 年のカーボンニュートラル実現に向け、国内外で、自社開発や保有に、他社からの調達も加えて、再エネ普及貢献量を 2030 年度までに 500 万 kW<sup>※3</sup>に拡大することを目指しており、本発電所を含めた現在の再エネ普及貢献量は 376 万 kW です。

今後も、再エネの電源開発及び再エネ電気の供給を通じて、低・脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

※1：和歌山御坊バイオマス発電合同会社

※2：当初計画（2025 年 9 月商業運転開始）より約 1 か月前倒しの商業運転開始となります

[https://www.osakagas.co.jp/company/press/pr2022/1305390\\_49634.html](https://www.osakagas.co.jp/company/press/pr2022/1305390_49634.html)

※3：建設中や既に意思決定済みの案件及びFIT 制度の適用電源を含む

### 【Daigas グループのバイオマス専焼発電所一覧】

発電所名	発電容量	商業運転開始月
松阪木質バイオマス発電所	0.2 万 kW	2018 年 1 月
市原バイオマス発電所	5.0 万 kW	2020 年 12 月
徳島津田バイオマス発電所	7.5 万 kW	2023 年 12 月
広畑バイオマス発電所	7.5 万 kW	2023 年 12 月
日向バイオマス発電所	5.0 万 kW	2024 年 10 月
愛知田原バイオマス発電所	7.5 万 kW	2024 年 11 月
袖ヶ浦バイオマス発電所	7.5 万 kW	2025 年 7 月
和歌山御坊バイオマス発電所	5.0 万 kW	2025 年 8 月
合計	45.2 万 kW	—

### 【会社概要】

#### <和歌山御坊バイオマス発電合同会社>

会社名	和歌山御坊バイオマス発電合同会社
所在地	東京都千代田区丸の内三丁目 1 番 1 号
代表者	代表社員 株式会社エネウィル 職務執行者 榎田剛
設立日	2013 年 4 月 19 日
出資者 (出資比率)	大阪ガス (35%)、エネウィル (35%)、SMFL みらいパートナーズ (30%)

以上